

南島原市ニュース

令和2年3月18日

タイトル

南島原市が舞台のオリジナルアニメ
「巨神と氷華の城（きょしんとひょうかのしろ）」

シティプロモーションの取り組みの1つとして制作している、南島原市を舞台にしたオリジナルアニメ「巨神と氷華の城（きょしんとひょうかのしろ）」が、5月からNCC長崎文化放送で放送開始!

1話あたり60秒の全4話で、今年12月までに段階的に順次公開。

12月以降には4話を1つの映像にまとめたものも公開するほか、海外版も制作・公開予定です。(YouTubeなどでも公開予定)

また、アニメにはオーディションを突破した市民声優・市民コーラスのほか、現在開催中のフォトコンテストの作品から選ばれた写真を基に描かれたシーンなどが登場します。

公開に先駆け、3月21日から、NCCにてPR動画CM(15秒)を放送します。

※詳しくは、別添をご覧ください。



担当部署	総務部 総務秘書課	担当者	吉岡 宏真
直通	0957-73-6621	E mail	hisvokouhou@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは <small>☎</small>		検索ワード	巨神と氷華の城
担当者 連絡先	0957-73-6621		

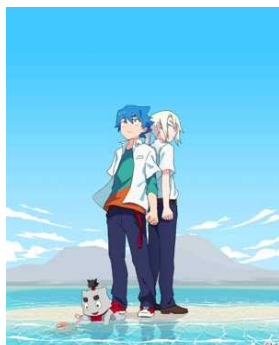
南島原市を舞台にしたショートアニメーション

「^{きよしん}巨神と^{ひょうか}氷華の^{しろ}城」

—不思議な生き物と出会った少年たちの運命は—

きよしん ひょうか しろ

【巨神と氷華の城】



- あらすじ: 舞台は長崎県南島原市。江戸時代初期、日本を揺るがした『島原・天草一揆(島原の乱)』で有名なこの地で、中学3年生の志郎は学校の友人たちと変わらない日々を過ごしていた。

そんな夏のある日年上の幼なじみ茜が東京から帰郷する。同じく幼なじみの時八も連れて、市内を散策する志郎たち。懐かしさと複雑な想いが交差する中、突如目の前に現れたのは、ゴロンと名乗る不思議な生き物だった。

小さな生き物ゴロンとの出会いが、この地に再び大事件を巻き起こす—。

- 監督: オカモト(トリフスタジオ)

- 制作: TriFスタジオ(代表: 麻生 秀一)

- 制作著作: TriF/南島原市・NCC長崎文化放送

- 放送: 毎週月曜から木曜 NCC「あに。(あにまる)」(25:54)内
毎週木曜 23:10(60秒は5月から放送予定)

CMとして60秒作品と15秒のティザーPV作品を2021年1月まで放送

NCC公式YouTube <https://www.youtube.com/c/nccnagasaki>

【巨神と氷華の城 公式サイト】

<https://www.ncctv.co.jp/minamishimabara/anime.html>

オカモト監督

福岡県を拠点に活動するクリエイティブチーム“TriFスタジオ”に所属するアニメーション作家/イラストレーター。

原案・監督などを務めるオリジナルアニメ『メカウデ』では、国内外でのクラウドファンディングで製作資金の調達に成功し2018年にパイロットエピソードを完成させる。そのクオリティの高さは業界内でも話題となっており今後の活躍が期待されている新進気鋭のクリエイター。